

仙台白百合学園の国際教育

中学生

世界に目を向ける

中1

グローバルディ
グローバル新聞作成

身近な生活と
世界のつながりを
考える

中2

グローバルディ
ニュージーランド研修

世界の諸問題に
ついて考える

中3

グローバルディ
国際協力を行う団体
への募金活動

世界の中の日本

高I

国際理解のための
講演会

海外研修（ポーランド・フィリピン）、留学

グローバルな視野
で考える
自分の生き方

高II

国際理解のための
講演会

社会に貢献する
行動力

高III

校外活動への自主参加

高校生

日々の朝礼/終礼でのお祈り、英語暗唱大会、シエラレオネ・パレスチナ募金*、研修会/ワークショップ、各種大会/コンテストへの参加など

*シエラレオネ募金（中学生徒会）

1987年より毎年アフリカのシエラレオネの子どもたちのために「200円募金」を行っています。シエラレオネで活動されていたシスター根岸から「200円あれば子どもひとりの1か月分の給食がまかなえる」と当時の学園祭で聞いたことから、生徒たちが自ら生徒総会で話し合い「200円募金」を行うことにしました。募金活動は現在も毎年続き、シエラレオネの子どもたちの給食費として役立てていただいています。

*パレスチナ募金（高校生徒会）

2002年の学園祭で、生徒会の企画として、NPO「仙台とパレスチナを結ぶ会」代表の方によるご講演が行われました。お話を聞いた生徒たちはそれ以来毎年、学園祭での売り上げの一部をパレスチナの盲学校に寄付し続けてきました。寄付は盲学校の生徒たちの給食費補助として使われているそうです。コロナ禍のために規模が縮小された2020年の学園祭でも、生徒たちは工夫を凝らし、弱い立場の人を思うその伝統を次につなげようとしていました。

人々と共生し 世界に貢献する 豊かな生き方へ

知る
参加する
体験する

心が動く

共感する

学習意欲

問題解決
能力

表現する力

共に働く力

仙台白百合学園では、様々なアプローチで国際理解のための教育を行っています。それまで知らなかったことを知り、参加し体験するとき、生徒たちの表情は輝き、心が大きく成長します。一人ひとりの生徒が、将来、世界の人々とつながり合い自分を生かす喜びを感じながら豊かな生き方を自ら作っていけるようになることを目標としています。